

Сайн байцгаана уу ?

(皆さん こんにちは ?)

通信が途絶えていてすみません、気が付けば私の任期も残り3か月となっていました。(帰国日は来年の2/20。)

私の任地BH(バガノール)は3回目の積雪です。外気温は-5℃です。熊本の皆さんにとってはほとんどもなく寒いことなのですが、雪が降っていなければ-10℃くらいなので、寒いながらも少し暖かい日と言えます。

モンゴル語について

このグローバルプログラムのとき、独学でモンゴル語を少し学習していました。木葉小学校へ見学に行ったとき、壁に生徒の書いたものがありました。ウクライナからの子供の書いたものに目をやると、『автобус』という文字だけ理解できました。ウクライナもキリル文字を使用しているのです。モンゴルもかつてロシアの影響を受けており、モンゴル古来の文字もあるのですが、キリル文字を使用しているのです。この автобус はバスという単語です。

モンゴル語の語順は日本語と同じです。だから、単語を知っていれば日本語のようにその単語を並べていけば通じる?という人もいますが、実際はそう簡単にはいかないのが現状です。

モンゴル語は、**母音調和**と呼ばれるものがあり、この母音調和をもし日本語で話したとしたら以下のようになります。

(日本語) 玉東から、来ました。 → (モンゴル語) 玉東ころ、来ました。

日本語だと、○○(地名としますね)から来ました。となり、この地名の子音の次の母音に関係なく○○から来ました。となります。しかし、ぎょ(お)く(う)と(お)と、おが続くので、kara(から)ではなく、Koro(ころ)と変化するのです。これはある程度モンゴル語の学習が進めば、逆に発音しやすいはずなのですが、そこまでに至らない場合は、別の単語なのかな?とってしまうこともあるのです。

モンゴル語の発音で最大の難関が、その音の読みをカタカナで書くと2つともラになるのですが、明確に違う言葉なのです。英語というところの、light と right (2つともカタカナだとライト)と、ほぼ同じです。

モンゴル語では дээр (上という意味) と дээл (モンゴルの民族衣装の名前)。2つともカタカナで書くと **デール** です。このラ行の発音ですが、英語の L a と R a の発音とは微妙に違うのです。

私がグーグルの音声翻訳を使用して発音すると、дээлの方がなかなか正解にたどり着きません。モンゴル人たちにスマホの音声翻訳を使わせると、当たり前のことですが、ちゃんと発音できます。

更に発音の難点に、ロシア語にはない **o** と **y** (2つともおに聞こえる) と **θ** と **Y** (2つともうに聞こえる) これも発音が難しいですが、その前後関係からどちらの言葉なのか判断できます。

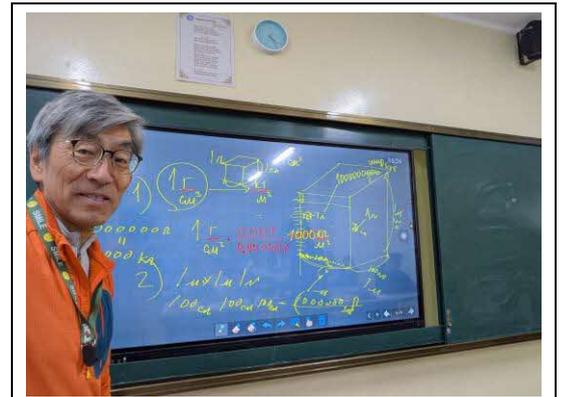
モンゴル語を学習すればするほど単語量が増えていくのですが、それと比例して訳わからなくなっている現状です。(モンゴルで活動している仲間(日本人)も似たように苦戦をしています)

あるときこういうことが判りました。日本語のカタカナによる発声をしてはいけない。多分これは英語にも通じていると思われます。(口の形、舌の位置を重視して発音するという事です)

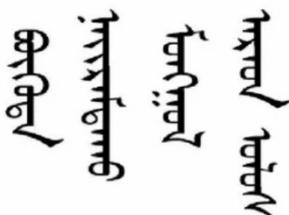
さて、そんなモンゴル語ですが、実は**モンゴル古来の文字**(左参照)をもっと広めようとする動きがあり、この**2025年**から政府公的文書はキリル文字とモンゴル文字の**2つを併記**することになりました。学校でも数年前からモンゴル文字の教育に取り組んでいて、年配の方々も理解できていて、中間層(30~50歳くらい)が理解できていないと思われます。

日本人にとってモンゴル語は特にラ行の発音は苦戦するところですが、モンゴル人にとって日本語の発音に関しては難しくありません。しかし、日本語は日本人にとっても難解な漢字がありますよね。この漢字に関しては、モンゴルだけではなくすべての外国人にとって難解に感じていることでしょう

北澤でした。



液晶黒板です。密度の単位について説明



縦書きで左から書きます